



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月24日

上場会社名 株式会社エイアンドティー 上場取引所 東  
 コード番号 6722 URL <https://www.aandt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三坂 成隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 新国 泰正 (TEL) 045-440-5810  
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第3四半期の業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	8,266	39.2	770	880.6	754	880.3	574	—
2018年12月期第3四半期	5,938	△9.8	78	△63.6	76	△62.1	3	△97.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年12月期第3四半期	91.83		—					
2018年12月期第3四半期	0.52		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	11,633	7,618	65.5	1,217.70
2018年12月期	12,611	7,179	56.9	1,147.47

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 7,618百万円 2018年12月期 7,179百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2019年12月期	—	0.00	—		
2019年12月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	7.4	1,010	30.4	1,000	30.1	720	39.0	115.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	6,257,900株	2018年12月期	6,257,900株
2019年12月期3Q	1,093株	2018年12月期	1,093株
2019年12月期3Q	6,256,807株	2018年12月期3Q	6,256,807株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、米中貿易摩擦や中国の景気減速に加え、欧州経済の不透明感、地政学的なリスク等、世界経済の先行きが引き続き懸念されるものの、消費増税前の需要増、雇用・所得環境の底堅さ等により、内需環境は堅調に推移しております。

国内の医療業界におきましては、医療機器産業を含む健康・医療関連分野は政府の成長戦略の柱の1つであり、需要の拡大が見込まれる一方、医療費抑制政策等の影響により、医療機関の経営改善及び経費削減等への取り組みが引き続き求められております。

このような環境を背景に、当社は2028年の創業50周年に向け、「持続的な成長に向けた体制づくり」をテーマに掲げ、2018年12月期～2020年12月期の3カ年を対象とする中期経営計画を策定し、①自社製品販売の比率を高め、収益性向上を図る、②中国に向けた事業展開を強化し、海外売上高比率を高める、③開発と製造の連携を強化し、安定した高品質な製品の開発・生産体制を構築する、④働き方改革と人材育成を徹底する、を基本方針として、各種重点施策の推進に努めております。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は臨床検査機器システム及び消耗品を中心に自社製品販売が大幅に増加し、8,266,710千円（前年同期比39.2%増）となりました。利益面につきましては、自社製品販売の増加により、売上総利益は3,579,915千円（同28.7%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、人材の積極採用等により主に人件費が増加いたしました。その結果、営業利益は770,651千円（同880.6%増）、経常利益は754,654千円（同880.3%増）、四半期純利益は574,575千円となりました。

当第3四半期累計期間の販売実績を製品系列別に表示すると、次のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
臨床検査機器システム	2,738,030	46.1	4,656,040	56.3	1,918,009	70.1
検体検査装置	337,350	5.7	521,100	6.2	183,749	54.5
臨床検査情報システム	1,587,700	26.7	2,435,657	29.5	847,957	53.4
検体検査自動化システム	812,980	13.7	1,699,283	20.6	886,303	109.0
臨床検査試薬	1,685,480	28.4	1,632,188	19.7	△53,292	△3.2
消耗品	1,293,431	21.8	1,551,768	18.8	258,337	20.0
その他	221,079	3.7	426,712	5.2	205,632	93.0
合計	5,938,022	100.0	8,266,710	100.0	2,328,688	39.2

## &lt;臨床検査機器システム&gt;

検体検査装置は、電解質事業における海外販売の増加、グルコース事業における直接販売の増加、及び凝固事業におけるOEM販売の増加により、増収となりました。臨床検査情報システムは、一部消費増税前の需要増に加え、新製品販売による更新需要増等により増収となりました。検体検査自動化システムは、中国向けOEM販売において、中国の金融環境変化等の影響に加え、OEM先の在庫調整により減収となった一方、韓国や国内の大型案件が増加したことにより増収となりました。その結果、売上高は4,656,040千円（同70.1%増）となりました。

## &lt;臨床検査試薬&gt;

臨床検査試薬につきましては、電解質事業における一部OEM先の販売減に加え、免疫事業におけるOEM販売、及び各事業において直接販売が総じて減少したことにより、売上高は1,632,188千円（同3.2%減）となりました。

## &lt;消耗品&gt;

消耗品につきましては、電解質事業において既存OEM先のセンサー販売増加に加え、検体検査自動化システム事業において分析前工程モジュール（MPAM+）の稼働台数が増加し、血液分注に必要な消耗品販売が堅調に推移したことにより、売上高は1,551,768千円（同20.0%増）となりました。

<その他>

臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの大型案件に付随する他社製品の販売が増加し、売上高は426,712千円(同93.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ978,594千円減少し、11,633,368千円となりました。流動資産は同890,772千円の減少、固定資産は同87,821千円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、売上債権の回収により、受取手形及び売掛金が1,476,649千円減少したことによるものです。固定資産の減少の主な要因は、減価償却が進んだことにより、建物(純額)が61,125千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ1,417,984千円減少し、4,014,462千円となりました。流動負債は同1,115,475千円の減少、固定負債は同302,508千円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、仕入債務の支払いにより、支払手形及び買掛金が693,847千円減少したことによるものです。固定負債の減少の主な要因は、江刺工場の増設に係る資金の返済により、長期借入金が300,000千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ439,390千円増加し、7,618,905千円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間における業績が概ね計画の範囲内で推移していることから、前回(2019年2月7日発表「平成30年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)に記載の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,051,616	1,282,824
受取手形及び売掛金	5,354,468	3,877,819
商品及び製品	589,180	763,664
仕掛品	512,790	560,242
原材料及び貯蔵品	693,860	772,829
その他	76,328	128,616
貸倒引当金	△5,354	△3,877
流動資産合計	8,272,891	7,382,119
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,072,603	2,011,478
土地	1,356,755	1,356,755
その他(純額)	365,464	321,751
有形固定資産合計	3,794,823	3,689,985
無形固定資産	38,584	39,639
投資その他の資産	505,663	521,624
固定資産合計	4,339,070	4,251,249
資産合計	12,611,962	11,633,368
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,536,931	843,084
短期借入金	2,100,000	1,700,000
未払法人税等	82,831	118,937
製品保証引当金	137,135	106,624
賞与引当金	—	219,927
その他	799,446	552,297
流動負債合計	4,656,345	3,540,870
固定負債		
長期借入金	750,000	450,000
資産除去債務	6,034	6,095
その他	20,066	17,496
固定負債合計	776,100	473,592
負債合計	5,432,446	4,014,462

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	6,025,077	6,449,489
自己株式	△596	△596
株主資本合計	7,156,640	7,581,052
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22,875	37,853
評価・換算差額等合計	22,875	37,853
純資産合計	7,179,515	7,618,905
負債純資産合計	12,611,962	11,633,368

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,938,022	8,266,710
売上原価	3,157,340	4,686,794
売上総利益	2,780,682	3,579,915
販売費及び一般管理費	2,702,096	2,809,264
営業利益	78,585	770,651
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	337	450
受取保険金	9,027	—
保険事務手数料	666	633
その他	1,273	727
営業外収益合計	11,312	1,815
営業外費用		
支払利息	10,609	10,223
為替差損	1,022	7,552
その他	1,280	36
営業外費用合計	12,912	17,812
経常利益	76,985	754,654
特別損失		
業務委託契約解約損	40,293	—
工場移転費用	22,487	—
固定資産撤去費用	6,116	6,570
その他	1,522	339
特別損失合計	70,419	6,910
税引前四半期純利益	6,566	747,744
法人税等	3,331	173,169
四半期純利益	3,234	574,575



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。